

川上ダム通信

2020
1
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



Vol. 172
Since 2005



新年明けましておめでとうございます。平素より川上ダム事業に対しご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。近年は日本各地で豪雨が頻発しており、昨年10月の台風19号では川上ダム上流域において総雨量300mmを超える雨により、ダム下流水位の基準地点においては一時氾濫危険水位を超え、一部の地区では避難勧告が発令されました。

もし、既に川上ダムが完成していたならば、洪水流量をダムで調節することで下流の河川水位を下げることで、同地区の避難勧告は発令しなかったものと推定しております。下流地域の安心安全のためにも、一日も早いダムの完成に向けて努力してまいりたいと考えております。

令和4年度の事業完成に向け、皆さまのご支援を受けながら事業を進めてきており、昨年3月までには本体の基礎掘削工事をほぼ完了させ、9月よりダム堤体のコンクリート打設工事を開始するなど、進捗を図ってきたところです。12月15日には定礎式を挙行させていただき、今年はダム本体工事の最盛期を迎えます。

今後、堤体コンクリート打設のほか、取水設備や放流設備、管理設備なども加わり、ダムが出来上がっていく過程が目の前で展開されていくこととなります。

現在、ダムサイト右岸天端にある展望台「WELCOME川上ダム観眺台」の一般開放を行い、今しか見られないダムの工事現場の様子を間近でご覧いただけるほか、川上ダムHPから川上ダムLIVEカメラにアクセスしていただくことで、ダム工事の状況をご自宅などでもご覧いただけるようにしております。

引き続き、安全に十分配慮しながら事故が無いよう、周辺環境にも配慮しつつ事業を進めてまいります。また、川上ダムが将来にわたりご活用いただけるよう、地域と連携・協働しながら魅力あるダム造りを進めてまいりたいと思います。

これからも地元の話や川上ダム事業の調査、工事に関する事など様々な情報を少しでもわかりやすく発信するよう職員手作りの「川上ダム通信」をお届けしていきたいと考えております。

最後になりましたが、この一年の皆さまのご多幸とご健勝を祈念いたしますとともに、引き続きのご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【所長 淵上吾郎】



左から大竹副所長(事務)、
淵上所長、中原副所長(技術)

台湾經濟部の訪日団が川上ダムを視察

～お昼は青山のおもてなし料理で友好交流～

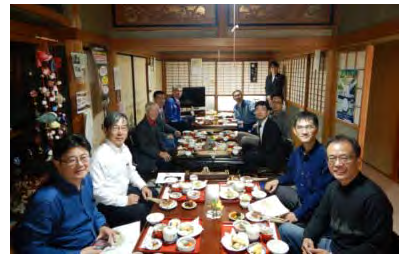
11月27日（水）、台湾政府經濟部水利署の訪日団が川上ダムを視察されました。メンバーは台湾の河川行政を担う幹部の皆さんで、台湾も日本と同じく東アジアの島国で地震や洪水など災害の発生する環境が似ていることもあり、現地では、工事の様子を見ながらダム計画から設計施工に至る多岐にわたる多くのご質問をいただき、予定時間が押すほど大変熱心にご覧いただきました。



現地視察のようす（みてちょうだい観眺台）

川上ダム視察の前には、あお阿保西部区の町づくり会が運営する初瀬街道沿いの「いっぷくしてだあ～こ」にて、同婦人部の皆さんがおもてなし料理を特別に用意してくださいました。

古民家での昼食に訪日団の皆さんも感動された様子で、帰りの際は感謝の挨拶を交わしながら店の前で満面の笑顔で記念撮影を行いました。



昼食のようす

日台友好交流にご貢献いただいた町づくり会の皆さん、素晴らしいおもてなしをありがとうございました。この紙面をお借りして改めて感謝申し上げます。

【副所長（技術） 中原忠義】



「いっぷくしてだあ～こ」前で記念撮影

第5回川上ダム周辺整備懇談会開催

11月28日（木）、青山支所管内の住民自治協議会長の皆さま、川上区長、伊賀川漁業協同組合の代表者並びに伊賀市の方々と、川上ダム完成後を見据えたダム周辺の整備について、意見交換を行うことを目的とした「第5回川上ダム周辺整備懇談会」を開催しました。今回は、川上ダム貯水池を望む見通しの良い「かみがわら上川原眺望広場（仮称）」の整備イメージをダム通信の紙面で紹介します。



上川原眺望広場（仮称）の整備イメージ図

同広場の整備については、「駐輪場を設置してほしい」「川の生き物などを紹介するコンテンツがほしい」など、懇談会メンバーの皆さまからいただいた様々なご意見を基に、今後の設計を進めていきます。

【調査設計課 柳瀬有里】



○は整備予定地

建設現場の技術と魅力を紹介！

～近大高専の生徒さんが見学に来られました～

11月15日（金）、近畿大学工業高等専門学校都市環境コースの生徒さん45名が現場見学に来られました。

ダム堤体コンクリートの打設状況や骨材貯蔵設備を熱心に見学していただき、施工設備やダムコンクリートの特徴について興味をもって質問されていました。一方で、ダムや建設現場をあまり見たことがないという生徒さんもしらっしゃいましたが、今回のような現場見学会を通じて、ダムや建設現場の魅力を感じてもらえたらいいと思います。

将来を夢見る技術者の卵の皆さんと話すことで、筆者も学生時代にダム見学に行ったワクワク感を思い出して、楽しい気持ちになりました。

【工事課 野田有佑】



骨材貯蔵設備見学のようす



みてちょーだい
観眺台からダムサイトを一望

ダムを走る！城下町を走る！



11月は2週間連続で地元のマラソン大会に参加しました。当日のランナーで、特に輝いていた2人のコメントを紹介します！



伊賀上野シティマラソン
(所長も10km走りました)

11月24日（日）、伊賀市中心部で開催された「2019 忍者の里伊賀上野シティマラソン」に参加しました。5月に参加した「青山高原つつじクォーターマラソン大会」では川上ダムの出場メンバーの中で最下位でしたが、今回は10kmコースに参加したメンバー内でなんと2位でゴールできました。

沿道からの声援や10月頃からの練習の成果？もあり、伊賀の里を気持ちよく走ることができました。
【工務課 山田 聖】

11月17日（日）、比奈知ダムで開催された「2019 名張ひなち湖紅葉マラソン大会」に参加しました。久しぶりに10kmを走りましたが、景色を楽しみながら気分良く走ることができました。

翌週には伊賀上野シティマラソンに参加したので、まさにひたすら走った11月となりました。

【環境課 小山和也】



5月の山田



11月の山田

堤体打設とともに、基礎処理工が進んでいます！

基礎処理工とは、基礎岩盤に直径5cmほどの穴を掘りそこからセメントミルクを注入し岩盤の隙間を埋めるもので、堤体の岩着部付近の遮水性改良と弱層部の補強を目的とするコンソリデーショングラウチング（通称コンソリ）と、コンソリよりさらに深い部分での遮水性改良を目的とするカーテングラウチングがあります。

現在は、コンソリによる遮水性改良を着々と進めている段階です。今後も堤体打設とともに着実に基礎処理工を進めてまいります。



基礎岩盤を掘った際のコア



セメントミルクを送るプラント



セメントミルクの重さで品質を確認



セメントミルク注入のようす

～本体工事の進捗状況～



:完了



:施工中



:未実施

| H30.4 ▼ | | H30.9 ▼ | H31.4 ▼ | 現在 ▼ | R3.10 ▼ | 完成! |
|--------------|------|---------|---------|---------------------|---------|----------|
| 仮排水路 トンネル | 仮締切工 | | | 堤体打設進捗率9.9%(11月末時点) | | (R5.3予定) |

【工事課 藤澤大志】

12月の転出入者の紹介

転出者

所属 氏名 異動先
工務課 河野 将大 総合技術センター

転入者

所属 氏名 異動元
工務課 前田 博美 阿木川ダム管理所

川上ダム工事現場見学会開催中!

川上ダムでは、事業に対する理解や興味をより深めていただくために毎月第3日曜日（原則）に、午前・午後の二部構成で、工事現場見学会を絶賛開催中です。

詳しくは当建設所HPをご覧ください。

【第14回】令和2年 1月19日（日）

【第15回】令和2年 2月16日（日）

（1月6日より募集開始）



編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年末、手作りのしめ縄を手に下校する神戸の小学生達に出会いました。日本の伝統が受け継がれていることに感動しました。

今思えば、段取りが大変なおせち料理作りやお餅つきと一緒に経験させてくれた親の有り難みに気づきます。

お正月の後は、七草がゆに鏡開きと伝統行事はまだあります。今年も、季節の移り変わりを楽しめる一年になりますように。

【広報誌発行事務局】

| | | |
|-----|-----------|----------|
| 編集長 | 淵上（所長） | |
| デスク | 大西（総務課長） | 中野（工務課長） |
| 記者 | 山口（総務課） | 西岡（用地課） |
| | 子川（調査設計課） | 小山（環境課） |
| | 藤澤（工事課） | 後（機械課） |
| | 山田（工務課） | |

～12月15日（日）に開催された定礎式の模様は、川上ダム通信＜特別号＞にてご紹介いたします。～